

岐阜工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	日本事情
科目基礎情報						
科目番号	0166		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電気情報工学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	1		
教科書/教材	プリント、辞書					
担当教員	中島 泰貴,安藤 郁美					
到達目標						
①日本に関することについて知識を得る。 ②自分自身と日本社会について思考できる。 ③知っていることや自分の考えを他者に伝えられる。 ④他者との相互作用を通して、自己理解、日本に対する理解が深まる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
	各課で扱った内容に関する理解確認問題に、ほぼ正確に（8割以上）正しく答えることができる。		各課で扱った内容に関する理解確認問題に、だいたい正確に（6割以上）正しく答えることができる。		各課で扱った内容に関する理解確認問題に、答えることができない。	
	各課で扱った内容について、自分自身や自国とかかわらせながら述べるができる。		各課で扱った内容について、日本に関することを述べるができる。		各課で扱った内容について、ほとんど述べるができない。	
	聞き手が理解するのにほとんど（8割以上）負担を感じさせずに、知っていることや自分の考えを口頭で説明できる。		聞き手が理解するのに（6割以上）負担を感じさせずに、知っていることや自分の考えを口頭で説明できる。		知っていることや自分の考えを口頭で説明することができない。	
	授業で新しく学んだことについて、助けがなくても自ら深く内省ができる。		授業で新しく学んだことについて内省ができるが、一部支援が必要である。		授業で新しく学んだことについて、内省できない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	この授業では、自分の身の回りのこと、日本の文化に関すること、日本の社会問題について学ぶ。それぞれについての知識を獲得することだけでなく、自分自身や自分の国の様子と対比しながら考えることで、日本と自国両方のより深い理解を目指す。					
授業の進め方・方法	この授業では日本と自分自身（または自分の国）を比べながら学習を進めていくため、自分が知っていることを積極的に発言することが求められる。それぞれの回で学んだことを記録するために、毎回振り返りシートを記入する。また、受講者の興味関心に応じて、進度やテーマを適宜変更する可能性もある。					
注意点	授業ではプリントを多く配布するため、保管するファイルを用意すること。 学習・教育目標：（C－1）30％（A－1）70％					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション、私が知っている「日本」			
		2週	私の町①		授業テーマについて積極的に発言し、自分の住む町への関心を深める。	
		3週	私の町②		授業テーマについて積極的に発言し、自分の住む町への関心を深める。	
		4週	私の町③		授業テーマについて積極的に発言し、自分の住む町への関心を深める。	
		5週	音楽の楽しみ方①		授業テーマについて積極的に発言し、日本の音楽への関心を深める。	
		6週	音楽の楽しみ方②		授業テーマについて積極的に発言し、日本の音楽への関心を深める。	
		7週	音楽の楽しみ方③		授業テーマについて積極的に発言し、日本の音楽への関心を深める。	
		8週	中間試験			
	2ndQ	9週	人の名前、物の名前①		授業テーマについて積極的に発言し、日本の固有名詞への関心を深める。	
		10週	人の名前、物の名前②		授業テーマについて積極的に発言し、日本の固有名詞への関心を深める。	
		11週	人の名前、物の名前③		授業テーマについて積極的に発言し、日本の固有名詞への関心を深める。	
		12週	ブラックバイト①		授業テーマについて積極的に発言し、日本の労働事情への関心を深める。	
		13週	ブラックバイト②		授業テーマについて積極的に発言し、日本の労働事情への関心を深める。	
		14週	ブラックバイト③		授業テーマについて積極的に発言し、日本の労働事情への関心を深める。	
		15週	フォローアップ（期末試験の解答の解説など）、前期全体の振り返り			
		16週				
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション、夏休みの思い出			
		2週	わたしとスマホ①		授業テーマについて積極的に発言し、日本の通信事情への関心を深める。	

		3週	わたしとスマホ②	授業テーマについて積極的に発言し、日本の通信事情への関心を深める。
		4週	論文不正①	授業テーマについて積極的に発言し、日本の学術環境への関心を深める。
		5週	論文不正②	授業テーマについて積極的に発言し、日本お学術環境への関心を深める。
		6週	日本の交通①	授業テーマについて積極的に発言し、日本の交通事情への関心を深める。
		7週	日本の交通②	授業テーマについて積極的に発言し、日本の交通事情への関心を深める。
		8週	中間試験	
	4thQ	9週	日本の社会問題①	授業テーマについて積極的に発言し、日本の社会問題への関心を深める。
		10週	日本の社会問題②	授業テーマについて積極的に発言し、日本の社会問題への関心を深める。
		11週	日本の社会問題③	授業テーマについて積極的に発言し、日本の社会問題への関心を深める。
		12週	通過儀礼	授業テーマについて積極的に発言し、日本の儀礼への関心を深める。
		13週	おもしろい日本語① オノマトペ	授業テーマについて積極的に発言し、日本の言語文化への関心を深める。
		14週	おもしろい日本語② キャラ語・方言	授業テーマについて積極的に発言し、日本の言語文化への関心を深める。
		15週	フォローアップ（期末試験の解答の解説など）、一年間の振り返り	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	中間試験	期末試験	態度	合計	
総合評価割合	200	200	200	600	
前期	100	100	100	300	
後期	100	100	100	300	